



日出谷小だより

学校教育目標【明日をつくる日出谷の子 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子】



「危険がいっぱい、子供のSNS」

校長 須田 肇

「人に親切にする」「呼ばれたら返事をする」「困っている人がいたら助ける」「間違っていれば正しく言う」。通常、お子さんに話していることと思います。きっとお子さんも、上記4つのことについて素直にそれは正しい行いだと答えることでしょう。

しかし、ネット社会で知らない人からメッセージが届いた時には上記とは反対に、「安易に親切にしない」「返信しない」「相談にのらない」「反論・抗議をしない」ように気をつけないと、大きなトラブルや犯罪に巻き込まれる可能性が高くなります。それは、「性別・年齢・人数・住所・職業等」が分からないネット上の相手だからです。

もし保護者さんの知らないところで、SNSでお子さんが「間違いを装ったメッセージや詐欺メール、犯罪の誘い」だと思わずに、親切心から冒頭の4つの対応をしたら…と考えると、「ゾッ」としませんか？



まだ経験や知識が乏しく判断力も未熟な子供たちに、自由にSNSを使わせるということは、便利さ以上に大きな危険に遭遇する可能性を高くするものです。

友達とのライン等のやり取りでもトラブルが多くなっています。例えば書かれた言葉のニュアンスや解釈によっていじめに発展する事案が発生しています。直接話せば解決することでも、ライン上でやり取りを続け、より悪化させてしまうことが多々あります。また、面白いからと安易に情報を拡散させた場合、その拡散行為が犯罪にあたってしまうこともあります。お子さん本人は、悪いことをしているという自覚がないこともあります。実際に警察に被害届を出された例もあります。「うちの子がそういうことをしてしまわないか」という危機意識をもたなくてはなりません。

さらに、視力やネット依存といった健康被害も心配されます。お子さんにスマホを持たせる（持たせている）場合は、こうしたことを踏まえた上で、各家庭で利用のルールや危険性について、お子さんと十分に話し合ってください。学校でも情報モラルや危険性等の指導をしていきますが、ご家庭で保護者様の責任のもと管理や使い方の指導、トラブル対応をお願いいたします。

参考資料「インターネットによる人権侵害 情報文化総合研究所 佐藤義弘氏」

●ご家庭での話し合いでご活用ください

「埼玉県 ネットトラブル注意報（バックナンバー）」

「文科省 情報モラルに関する指導の充実に資する〈児童生徒・保護者向けの動画教材〉」

○「地域の皆様へ」

今年10月から、本校の学校だよりの印刷物での地域での回覧を廃止し、「学校ホームページ」にてお伝えします。

「桶川市立日出谷小学校」と検索していただき、学校だよりの項目をクリックしていただくと表示されます。併せて学校の様子も定期的にお知らせしておりますので、どうぞ「学校ホームページ」をご覧ください。

○先月号のスクールカウンセラーの名前の文字が違っていました。桐生 純子 です。改めてよろしくお願いいたします。